

# 町村協会だより ④5 (宗谷支庁管内猿払村)

## 会員個々が積極的に参加することを基本に活動

### 主な年間行事及び活動内容

第四十五回目として紹介する協会は、日本最北端の村で、村としては道内一広い面積（五九〇平方キロメートル）を有し、幻の魚イトウが繁殖可能な唯一の河川と言われる猿払川が流れ、活ホタテや牛乳・バターで有名な猿払村身体障害者福祉協会（熊谷信義会長）です。

同協会は宗谷支庁支部設立から一年後の昭和三十五年六月に猿払分会として発足しました。当時は農業者、漁業者ともに生活が困窮しており、身体障害者が自立して社会参加できる状況ではありませんでした。そのような中、初代会長の若山勇氏を筆頭に役員一丸となって地道な活動を行い、現在では会員数六十四名となりました。

役員及び執行体制は、熊谷会長をトップに顧問二名、副会長二名、理事五名、監事二名、事務局長の計十三名となっております。

総会・役員会

交流会（夏）

親睦旅行（秋）

パークゴルフ大会

ゲートボール大会

宗谷管内大会（パークゴルフ・ゲートボール）参加

全道大会（パークゴルフ・ゲートボール）参加



宗谷管内芸能祭(猿払村生活改善センター)

### 猿払村身体障害者福祉協会PR

同協会は、関係機関からの支援を受けながらも、会員個々が各種行事に積極的に参加することを基本にして活動しています。猿払村が広域で九つの集落が点在しているため、会員が一同に会して行う事業については常に移動手段に苦慮しています。が、会員の協力により毎回多くの参加を得て、夏には交流会、秋には親睦旅行を行います。さらにパークゴルフやゲートボール



交流会（焼き肉パーティ）

を頻繁に行なっており、管内大会や全道大会にも参加し、十八年度の全道ゲートボール大会では見事優勝するなど、小さな協会が成しえた快挙に「やればできる！また頑張ろう！」という思いが浸透しました。

一方活動に参加できない会員もおり、その方々への支援をいかにしていくかが今後の大きな課題です。さらには未加入者への加入促進を行うなど協会の存在意義を高めるPRは必要であり、将来へ繋げる活動をして行きたいと考えております。



親睦旅行（雄武町にて）